

令和6年6月20日	
資料提供	
担当	和歌山県立文書館 西山
電話	073-436-9540
メール	e0221011@pref.wakayama.lg.jp



和歌山県立文書館パネル展示

「世界遺産登録20周年

岩崎家文書にみる、100年前の高野山参詣」

1 展示の趣旨

今年、「紀伊山地の霊場と参詣道」世界遺産登録20周年に当たります。これに関連して和歌山県立文書館では、当館寄託の岩崎家文書*（和歌山市紀三井寺）から、大正時代を中心とした高野山参詣に関する資料を取り上げて、パネル展示を行っています。

およそ100年前の高野山参詣を振り返り、当時の雰囲気を感じていただければ幸いです。

2 展示の概要

今日では電車や自動車を利用して、多くの参詣者が高野山を訪れていますが、このような光景は明治時代から大正時代にかけての、鉄道路線の開通や自動車の登場によって見られるようになりました。

鉄道会社、自動車会社は時刻表や地図を作り、旅館などでもそれぞれ特色ある広告を作成しました。また、参詣案内書や旅のしおり、登山記念の絵葉書なども作成されていました。岩崎家文書にはこのような高野山参詣に関する資料が含まれており、当時の高野山のようすや参詣の雰囲気を感じとることができます。

また、ケース展示では、パネル展示で取り上げた資料の実物を3回に分けて展示します。

3 展示期間

パネル展示 令和6年6月14日（金）～令和7年1月19日（日）（予定）

〔ケース展示 第1回 令和6年6月14日（金）～8月7日（水）（予定）〕

4 会場

和歌山県立文書館 〒641-0051 和歌山市西高松1丁目7-38 きのくに志学館2階
文書館ホームページ（<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/>）でも公開しています。

5 開館時間・休館日

開館時間：10時～18時（土日祝日は17時まで）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日） 年末年始（12月29日～1月3日）

館内整理日（毎月第2木曜日） 特別整理期間（年1回）

*岩崎家文書 江戸時代には紀三井寺村の庄屋を、明治時代以降には村長や町長などをつとめた家に伝わった文書群。



岩崎家文書5366 高野山名所繪圖

大正後期～昭和初期頃の作成と推定される南海鉄道株式会社（当時）高野線の広告です。紙面いっぱいに高野山の名所旧跡の絵を描き、「一番近い」、「一番近みち」など高野線の利便性をアピールする文言が記されています。



岩崎家文書2014 高野山参詣自動車案内

南海高野下駅から極楽橋の間を自動車で往復していた高野山参詣自動車株式会社の広告で、大正後期～昭和初期のものと考えられます。路線図は、大正時代以降よくみられた鳥瞰図という構図で描かれています。